

## 会 議 の 概 要

会 議 名 (審議会名)	第1回宝塚市特別職報酬等審議会
開 催 日 時	2020年8月4日(火) 14:00~16:30
開 催 場 所	宝塚市立中央公民館 2階 208学習室
委 員	(出席) 林会長、小塩委員、上月委員、廣嶋委員、中村委員、 末永委員、橋間委員
傍 聴 者 数	0人
公 開 の 可 否	公開

### 議事録

No	内容	詳細
1	総務部長挨拶	
2	委員委嘱	
3	委員紹介	
4	審議会規則説明	過半数以上の出席により審議会の成立を説明
5	事務局職員紹介	
6	会長選出	事務局より林委員を会長へ推薦、合意
7	諮問	
8	諮問書の説明	
9	会長挨拶及び職務代理者の指名	会長職務代理者として、岩本委員を指名、合意
10	情報公開及び傍聴要領の制定	審議記録の公開については、市ホームページにおいて審議概要及び委員氏名を掲載することとする。 審議会は原則公開とする。傍聴定員を原則10名とする。
11	資料説明	事務局より宝塚市特別職報酬等改定状況、近隣市町、類似団体との比較状況等を説明
12	審議・質疑応答	<p>委員 形式的に審議が行われていて全体が掴めない。</p> <p>事務局 当日資料にあるように、委嘱などのある意味形式的なことを先に行い、その後に議事として各種資料の説明等を行い、質問等にお答えする流れになる。</p> <p>委員 辞令には「審議終了まで」とあるが、なぜ審議終了日が書いていないのか。また、なぜ12月末までに審議終了になるのか。</p> <p>事務局 審議会の答申を受けた報酬等を来年度から適用する場合、条例改正を行うには議会に諮る必要があるため、年内を目処に答申をいただきたいと考えている。</p> <p>委員 特別職の年収がいくらで、4年間にどの程度の金額を支払っているのか、議員にはどの程度の金額を支払っているのか広報誌に載せれば良いのではないのか。人件費の中に一括りにされたら分からない。</p>

事務局	市長、副市長、教育長の個別の年収は公表していない。人件費として一括りで公表している。
委員	令和2年6月から行っている特別職の給料カットについて口頭での説明ではなく資料として提示して欲しい。
事務局	次回までにデータにてお示しする。
委員	色々な経費もあると思うが、市長の任期の間の4年間の総額でどれだけ支払っているのかわからない。
事務局	次回までにデータにてお示しする。
委員	審議会の答申を受けた報酬額の改正が来年度から適用ということは、新市長になる方の報酬額を決めるという認識で良いか。
事務局	審議会で審議するのは本市に置かれている特別職の報酬についてであり、過去の答申も踏まえ、概ね3年ごとに審議することとされた。必ずしも市長の任期に合わせる意味合いではない。
委員	実際に3年おきに開催されているのは、市長の任期に合わせて開催しているということではないか。
事務局	任期に合わせているという訳ではない。
委員	各自治体で財政のゆとりは全然違うので、財政状況が良くて市民も納得すれば他市より2倍、3倍の給料額にしたとしても問題ないか。
委員	財政にゆとりがある自治体が、そのことで給料額を高くすることは普通しない。逆も然り。市を良くするから2倍の報酬額をもらう公約の人を市民が選べば良いことで、審議会において市長が市を良くしてくれるので報酬額を2倍にするものではないと思う。
委員	先ほどもお願いしたが、給料月額ではなく4年間の総額のデータを提示して欲しい。
事務局	2016年から2019年において、条例上の額面で支払った4年間の総額と自主カットをしていたので、自主カットを反映した4年間の総額についてデータを次回までにお示しする。
委員	資料で示されている特別職の年収は地域手当込みの金額になるのか。
事務局	そのとおり。
委員	資料で示されている特別職の年収は税金等を引いた後の金額になるのか。
事務局	特別職は資料で提示している年収の金額から市県民税や社会保険料の支払いを行う。
委員	平成30年度までの宝塚市の財政状況は阪神間各市や類似団体と比較してどう評価されているか。
事務局	引き続き厳しい状況が続いている。
委員	宝塚市の財政状況は非常に危ないと思う。借金の返済はほとんど減っておらず、人口は増えているのに税収は増えるどころか減っている。大きな企業はどんどん他市へ出てしまっている。特別職の報酬は家庭的なレベルで例えると、毎月の収入があって、生活費やローンの支払いをして、余裕があればその余裕をもって決めるべきではないか。それで、特別職の報酬が少ないと思うなら、家計の出入りを整理して、もっともらえる努力をするべきだと思う。これから先の5年、10年どのようにしていくかを考えるべきであり、焼却炉の建設は約300億円で、その他にも大口の投資事業で余裕はないと思う。そのような話もなく、特別職の報酬を決めることは出来ないのではないか。

委員	焼却炉などの将来に必要なお金については行革の会議や中長期の計画を立てられていると思う。そもそも家計と自治体では違う。外国を見れば、議員は無報酬やボランティアもあれば、シティマネージャーみたいな形で高額に契約している場合もある。ただ、宝塚市がボランティアの仕組みにしようとしても決められる枠組みにはなっていない。
委員	前回答申以降で給料月額に地域手当を含めて、総額が変わらないように支給月数等を調整するなどの議論はされたか。
事務局	前回答申以降は検討出来ていない。
委員	財政状況が厳しい中でも地域手当をなぜ15%で維持しているのか。
委員	国家公務員の地域手当の支給率に準じて地方公務員も支給しており、特別職についても同じような形で支給している歴史的経緯がある。
委員	宝塚市が大阪などと比べて物価が高いとは思えない。
委員	私が調べたところ横浜市と同じ支給率になっている。なぜ横浜市と同じ支給率になっているのか。
事務局	地方公務員の給料は国家公務員の給料に準じて決める決まりがある。地域手当の支給率は市独自で決めているのではなく、国家公務員の地域手当に準じている。国が定期的に地域手当の支給率について見直しを行っており、国家公務員の本市における地域手当の支給率が見直されればそれに準じて見直しをする。
委員	地域手当の支給率を特別職だけ市独自で決めることは出来るのか。
事務局	一般職員15%、特別職10%のようにすることは審議により可能ではあるが、支給率の根拠がないことになる。
委員	地域手当を組み込んだ形で現在と同程度の給料月額にすれば良いのではないか。
事務局	今後の審議による。ただ、給料月額に地域手当を組み込むと、地域手当が見直された場合に特別職の給料月額を審議する必要がある。現在の形だと地域手当の見直しがあれば反映する形で対応出来る。
委員	伊丹市と川西市の地域手当は以前も今後も10%なのか。
事務局	国家公務員の地域手当に準じているので、見直しがあれば見直される。
委員	財政状況が良くて、資金が豊富な自治体は地域手当を支給しても良いと思うが、財政状況に応じて地域手当も考えるべきではないか。
委員	公務員の方の給料は景気や財政状況などで出来るだけ変動しないようにしている。
委員	市民の納得が得られれば、給料や地域手当が他市より多くても良いと思う。
委員	それは市長の公約であって、誰が市長であっても適用される報酬についての審議事項ではない。
委員	コロナの影響による納税相談の件数、来年度にどの程度の税収の減収を見込んでいるのか分かる範囲で教えてもらえるか。また、市立病院の厳しい経営状況についてニュース等で拝見した。市立病院の赤字経営の状況や新ごみ処理場の建設費のことについて知らない市民も多い。今後市民に借金の形で返ってくるので、今後計画されている設備投資などで必ず必要となるお金についても分かる範囲で教えてもらえるか。
委員	資料のデータは過去の分なので、今行っている国民健康保険料の減免や今後の固定資産税の減免によって今後の収支予想を教えてもらえるか。

	事務局	関係部署等に確認して次回以降に資料を示せる範囲でお示しする。
	事務局	本市では平成30年度決算における民生費の割合は46%を超えている。全国平均が37%であり、本市は福祉関係に重点的に取り組んでいることを示している。財政状況には色々事情があるが、福祉関係のサービスの充実などにお金を多く使っている。
	委員	現在行っている給料カットは令和3年3月までで4月以降は適用されない認識で間違いな いか。
	事務局	そのとおり。
	委員	政務活動費は全額使っているのか。
	事務局	議員によって異なる。全体で申し上げると7割程度の支出がある。
	委員	資料はいつ頃もらえるか。
	事務局	基本的には会議の1週間前までにお送りする。ただ、資料の整い具合によっては、会議直 前となることもある。
	委員	前回の審議会で政務活動費の執行についても議論されたと思うが、その後どうなってい るのか。
	事務局	前回審議会の諮問事項ではないが、適正な執行についてご意見をいただいている。
13	今後のスケジ ュール説明	第2回を 9月11日(金)の15:00からの予定とする。 第3回を10月6日(火)の15:00からの予定とする。 今回欠席の委員には事務局から確認を行う。
14	閉会	